

令和7年2月6日

西脇市長 片山象三様

西脇市総合計画審議会  
会長 三宅康成

西脇市総合計画の策定について（答申）

令和5年9月7日付い～037で諮問のありましたみだしのことについて、当審議会において審議を重ねた結果、別添のとおり「西脇市総合計画・後期基本計画（案）」を取りまとめましたので、答申します。

なお、計画の推進に当たっては、当審議会の審議過程で各委員から出された意見を十分に尊重し、基本構想に定めた将来像「つながりはぐくみ 未来織りなす 彩り豊かなまち にしわき」の実現に努められるとともに、特に下記の事項に留意されるよう求めます。

#### 記

- 将来にわたって持続可能な西脇市を築いていくため、「西脇市で暮らしたい、暮らし続けたい」と感じられるまちづくりを進めること。また、子どもや若者が意見を述べる機会を創出し、その意見の反映に努めることで、将来を担う世代にとっても魅力が感じられるまちづくりを進めること。
- 本格的に到来する人口減少社会に対応するため、コンパクトなまちづくりを進め、都市機能の維持・確保を図るとともに、円滑な移動に資する公共交通ネットワークの形成に努めること。また、地域の活力の維持・向上に向けて、効果的な土地利用の在り方について、地域住民とともに考えるよう努めること。

- 性別や年齢、障害の有無、国籍・文化的背景などにかかわらず、地域のあらゆる人が地域社会に参画し、生きがいを持って生活できるよう、地域コミュニティを基盤に、多様性と包摂性を尊重したまちづくりを推進すること。
- 本市が育んできた歴史や文化、豊かな自然、景観、産業など、地域固有の資源や特性を最大限に活用したまちづくりを推進すること。また、本市の魅力を市内外に効果的に発信し、多様な交流の促進を図ること。
- 社会のデジタル化が進展する中、デジタル技術の活用によって地域課題の解決や行政サービスの向上を図るとともに、あらゆる人がデジタルサービスの利便性を享受できるよう努めること。
- 行政資源の縮減が見込まれることを踏まえ、国庫補助金等の財源確保に努めるとともに、施策・事業の選択と集中や公共施設等の適正化、広域の枠組みを活用した連携などを推進し、効果的・効率的な行政運営に努めること。また、統計データやアンケート調査などを活用し、エビデンス（証拠・根拠）に基づく政策立案や効果検証を行うこと。